

TOTO

台所用シングルレバー混合栓(ハンドシャワータイプ)

TK53-3型

商品の機能が十分に発揮されるように、この施工説明書の内容に沿って正しく取り付けてください。取り付け後は、お客様にご使用方法を十分にご説明ください。

1

安全上の注意 (安全のために必ずお守りください)

取り付け前に、この「安全上の注意」をよくお読みのうえ、正しく取り付けてください。

- この説明書では商品を安全に正しく取り付けいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

- お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

	警告 この表示の欄の内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
	注意 この表示の欄の内容を無視して誤った取り扱いをすると、傷害または物的損害が発生する可能性があることを示しています。

	は、してはいけない「禁止」内容です。左図は、「分解禁止」を示します。
	は、必ず実行していただく「強制」内容です。左図は、「必ず実行」を示します。

警告	
	湯水を逆に配管しない 水を出そうとしても、湯が出てやけどをすることがあります。
	給湯温度は85℃より高温で使用しない 85℃より高温でご使用になると、水栓の寿命が短くなり、破損して、やけどをしたり、水漏れにより家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。
	この説明書に記載された項目以外は分解・改造しない 破損して、やけど・けがをしたり、水漏れにより家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。
	フィルターの掃除をする際は、いきなりふたをゆるめずに、止水栓を閉めてから行う また、湯側フィルター部が熱くないことを確認する 高温の湯が出て、やけどをしたり、水漏れにより家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。

警告	
	寒冷地用 水抜コックは水抜き以外の目的で開けない 水抜コックをいきなり開けると、高温の湯が出て、やけどをしたり、水漏れにより家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。

注意	
	強い力や衝撃を与えない 破損して、水漏れにより家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。
	必ず調圧弁を取り付ける また、 空気穴を塞がない シャワーホース内の水圧が高くなり完全に水が止まらないため、水漏れにより家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。
	調圧弁は空気穴が真上を向くように設置する 傾いていると、内部の機構が正常に作動せず、水漏れなど予想しない事故の原因になります。
	凍結が予想される場所で使用する場合は、配管部などに保温材を巻く また、寒冷地用の場合は、「 9 寒冷地用の水抜き方法 」を参照し、凍結予防を確実に 部品が破損し、水漏れにより家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。

2

仕様

給水・給湯圧力	最低必要水圧	0.07MPa(流動圧)
	最高水圧	0.75MPa(静水圧)
使用最高温度		85℃以下
使用可能水質		水道水および飲用可能な井戸水
使用環境温度	一般地用	1~40℃
	寒冷地用	-20~40℃ (ただし、0℃以下は水を抜いた状態)
用途		一般住宅台所用

3

取り付け前に

- 給水圧力が0.75MPaを超える場合は、市販の減圧弁で0.2~0.3MPa程度に減圧してください。快適に水栓をお使いいただくためには、0.2~0.3MPa程度の圧力をおすすめします。
- 誤操作などによるやけど防止のため、給水圧力は給湯圧力より必ず高くするか、同圧になるようにしてください。
また、湯側を加圧する場合でも、必ず湯側圧力を水側より低くしてください。
- 誤操作などによるやけど防止のため、60℃給湯をおすすめします。
- 給湯機からの給湯管は、抵抗を少なくするため最短距離で配管し、配管には必ず保温材を巻いてください。
- 瞬間式給湯機の場合、給湯機の能力・水圧などの条件により、給湯機が着火しないことがあります。
- 水勢調節および器具の点検を容易にするために、別途止水栓を必ずご用意ください。
<止水栓推奨位置>
・高さ方向:床から480mm
・水平方向:給水(水栓本体中心より右に195mm)
給湯(水栓本体中心より右に95mm)
- 梱包前に通水検査をしていますので、商品内に水が残っている可能性がありますが、商品には問題ありません。

4

部品の確認

次の部品があることを確認してください。

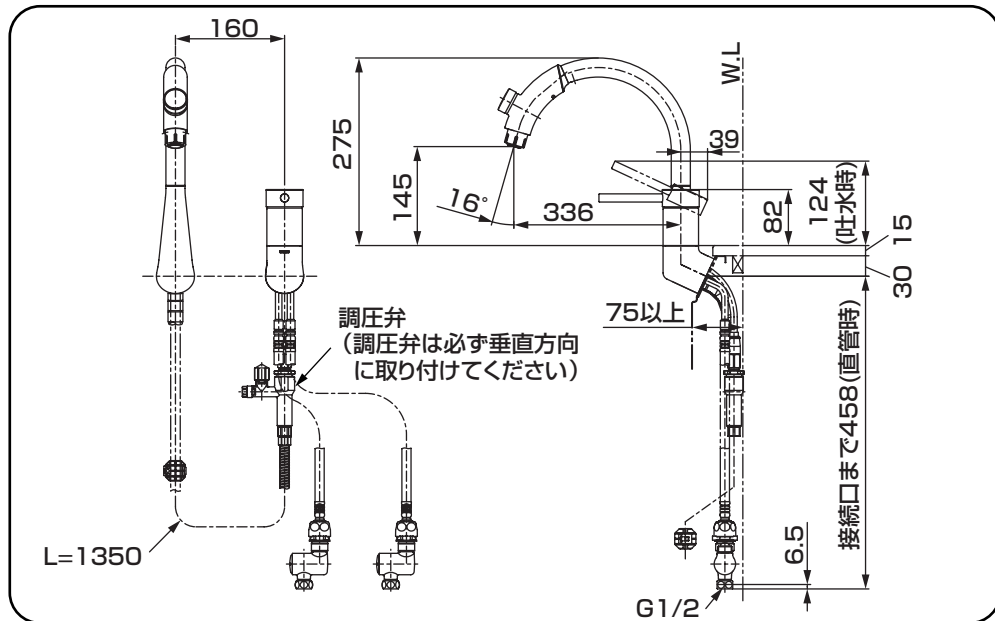
水栓本体部	スパウト部
<p>水栓本体 レバーハンドル 連結管 ワンタッチカプラー 給湯ホース 給水ホース 調圧弁 パッキン</p>	<p>ハンドシャワー スパウト ガイドチューブ 切替部 吐水口 ストッパー パッキン シャワーホース 水抜栓(寒冷地用のみ)</p>
その他	
<p>一般地用</p> <p>パッキン ワンタッチソケット(逆止弁・フィルター付き) ワンタッチカプラー</p>	<p>寒冷地用</p> <p>パッキン ワンタッチソケット(逆止弁・フィルター・水抜コック付き) ワンタッチカプラー</p>
<p>調圧弁・ワンタッチカプラー取付方法説明札</p> <p>六角棒レンチ</p> <p>施工説明書</p>	<p>水抜栓注意札(寒冷地用のみ)</p> <p>キャップ(2個) 止めねじ(2個)</p> <p>必ずお客様にお渡しください</p> <p>つかいかた説明札</p> <p>取扱説明書 開閉工具</p>

※品番によっては、図と現品の形状が一部異なります。
※取付金具はキャビネット側にセットしており、水栓には同梱しておりません。

5

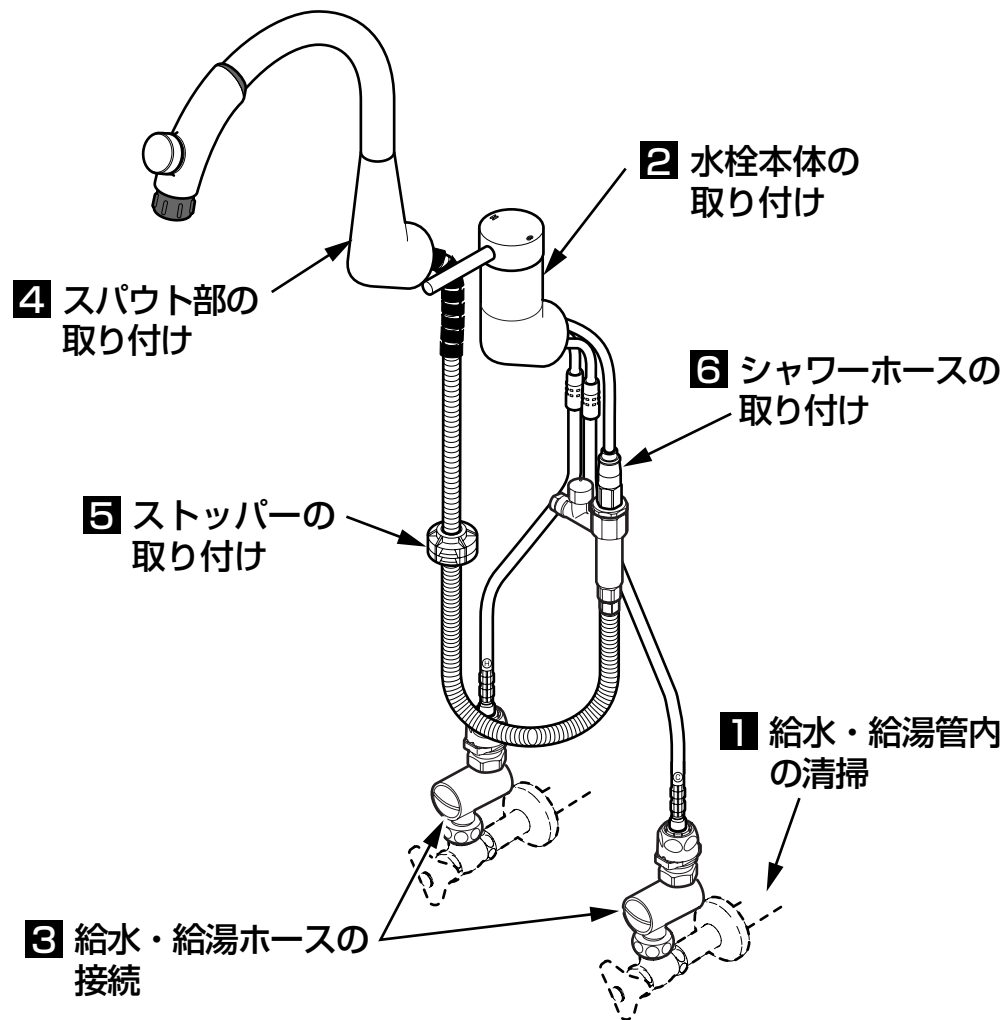
完成図

※品番によっては、図と現品の形状が一部異なります。



6-1

施工手順



1 給水・給湯管内の清掃

取り付ける前に **必ず給水・給湯管内のごみ、砂などを完全に洗い流す。**

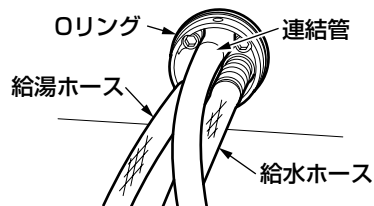
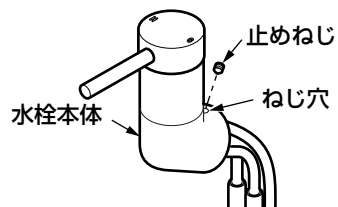
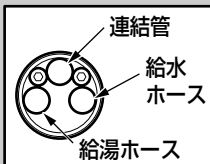
重要

2 水栓本体の取り付け

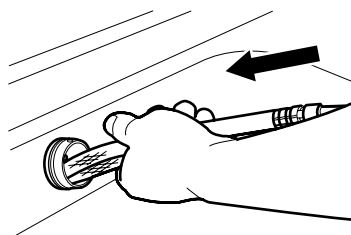
- ① 止めねじを水栓本体のねじ穴に仮ねじ込みする。
ねじは、内側に出ないようにする。
- ② シンクの取付金具のOリングにごみなどがついていないことを確認する。
- ③ 給水・給湯ホースと連結管などをそろえてシンクに向かって右側の取付金具に挿入する。

注意

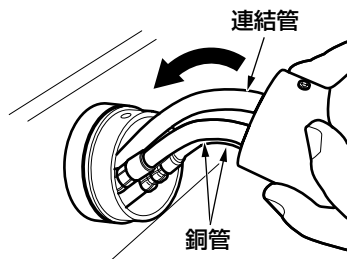
ホースは交差しな
ないようにそろえて
挿入してください。



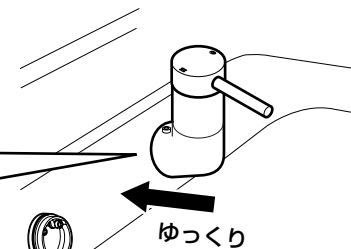
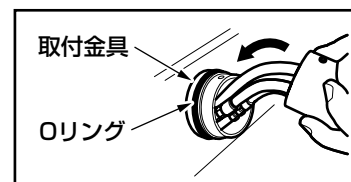
- ④ ホース先端がキャビネットに当たりますので、なるべくホース先端が下向きになるように手でホースを送り込みながら、挿入する。



- ⑤ 連結管が差し込まれる位置まで挿入できたら、本体をささえながら連結管および銅管の曲がりに沿うように本体を押し込む。



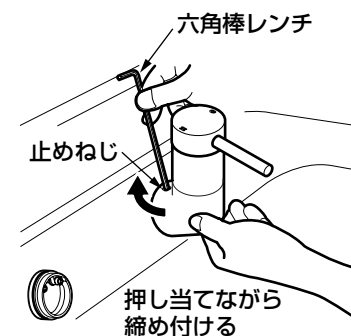
- ⑥ 本体が取付金具まで挿入できたら、本体の根元がシンクに接するまで取付金具にゆっくり押し込む。
※ 入りにくい場合は、取付金具のOリングに水などをかけると入りやすくなります。



- ⑦ 本体の向きを合わせて本体をシンクに押し当てたまま、六角棒レンチの長い方を使って止めねじを締め付ける。

注意

締め付け後、本体がまっすぐに取り付けられていることを確認ください。



- ⑧ 六角棒レンチの短い方を使って増締めして確実に固定する。その後、止めねじのキャップを押し込む。

注意

本体が確実に固定され、ガタがないことを確認ください。



裏面へつづく

3 給水・給湯ホースの接続

①ワンタッチソケットを止水栓に固定する。

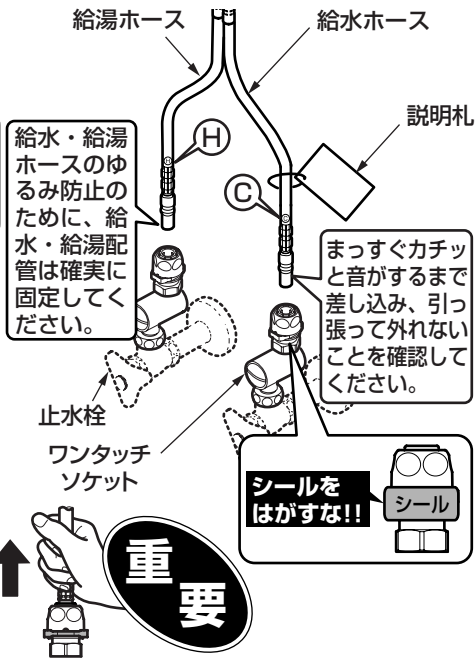
注意

ワンタッチソケットに貼られたシールをはがさないで取り付けください。そのままでもホースを差し込めます。

②給水・給湯ホースに異物の付着がないことを確認し、ワンタッチソケットにまっすぐ奥まで（カチッと音がするまで）確実に差し込む。確実に差し込まれていない場合、水漏れの原因となります。

この際、同梱の「ホースの接続方法」の説明札を必ずホースに通してください。

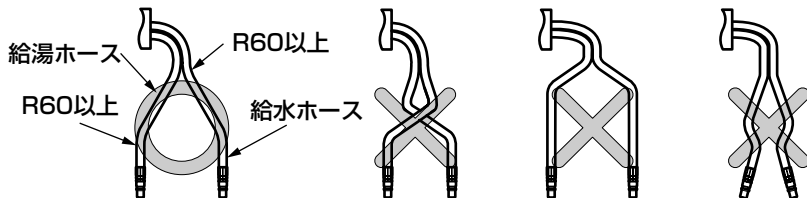
③ホースをまっすぐ引っ張って外れない（抜けない）ことを必ず確認する。



施工後、万一給水ホースを外した場合は、「ホースの接続方法」の説明札を確認のうえ、必ずワンタッチソケットと給水ホース内の残水を抜いてから給水ホースを差し込んでください。

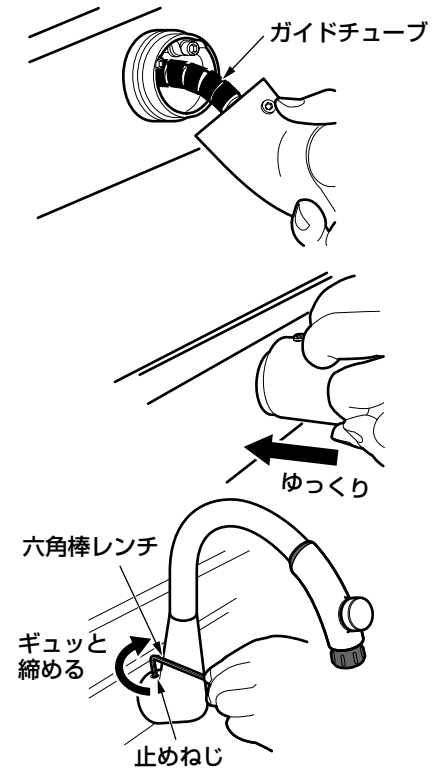
給水・給湯ホース施工上の注意点

- ホースを必要以上の力で曲げて折らないように注意してください。ホースの最小曲げ半径は60mmです。それよりも小さく曲げて使用すると、ホースが折れ、十分な流量が出ない場合や、破損、水漏れのおそれがあります。
- ホースを水栓本体端面から極端に屈曲して施工しないでください。
- ホースを無理に引っ張らないでください。ホースが折れる可能性があります。
- ホース同士の不要な接触は避けてください。外部補強層の摩擦による外傷でホース性能の劣化の可能性があります。



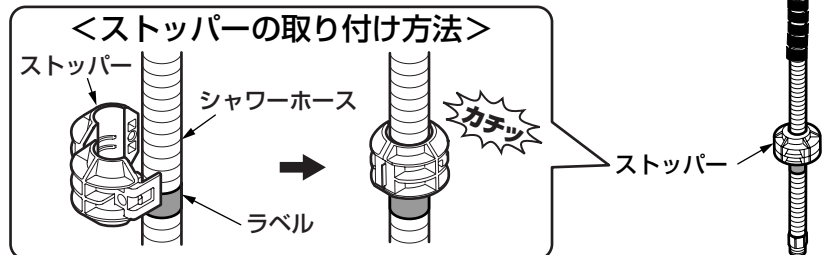
4 スパウト部の取り付け

- ①本体と同様に止めねじを仮ねじ込み後、向かって左側の取付金具にシャワーホースを通して挿入する。ねじは、内側に出ないようにする。
- ②スパウト部を根元部がシンクに接するまで取付金具にゆっくり押し込む。
※入りにくい場合は、取付金具のOリングに水などをつけると入りやすくなります。
- ③スパウト部の向きを合わせてスパウト部をシンクに押し当てたまま、「2 水栓本体の取り付け」の⑦⑧と同様に六角棒レンチで止めねじを締め付けたあと、キャップを押し込む。
- ④ガイドチューブをシンクの下から軽く引っ張り、抜けないことを確認する。



5 ストッパーの取り付け

ストッパーをラベルの位置（下図参照）にカチッとはめ込む。
※シャワーホースの引き出し長さは約300mmになります。



6 シャワーホースの取り付け

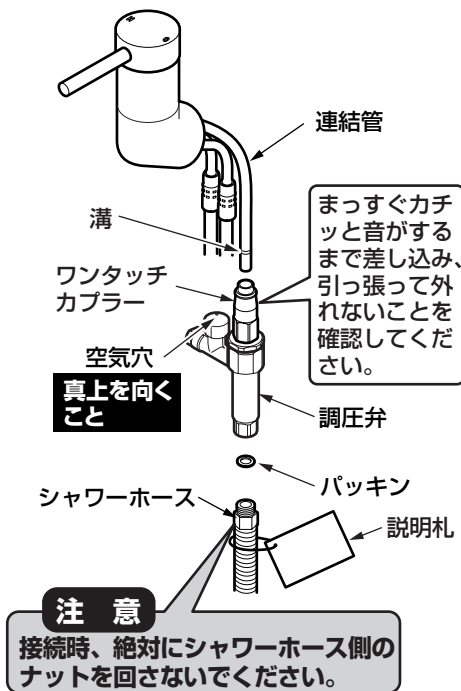
一般地用の場合

- ①調圧弁側の袋ナットを回して、シャワーホースに調圧弁を接続する。
- ②ワンタッチカプラーを連結管に**カチツ**と音がして、それ以上差し込めなくなるまで**まっすぐ**差し込む。

※この際、同梱の「**調圧弁・ワンタッチカプラー取付方法**」の説明札を必ずシャワーホースに通してください。

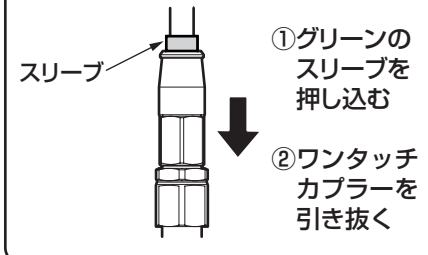
注意

- パッキンが入っていることを確認してください。
- 異物の付着がないことを確認してください。
- 必ず調圧弁を取り付けてください。調圧弁を使用しなかった場合、シャワーホース内の水圧が高くなり、シャワーホースが破損したり、水漏れするおそれがあります。
- 調圧弁は空気穴が真上を向くように設置してください。また、引き出しなどに調圧弁が当たらないことを確認してください。傾いていると、内部の機構が正常に作動せず、水漏れなど予想しない事故の原因になります。



注意
接続時、絶対にシャワーホース側のナットを回さないでください。

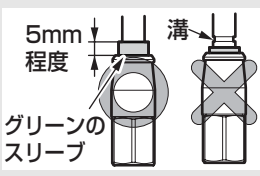
<ワンタッチカプラーを取り外す場合>



取り付け後の確認

重要

- 溝が隠れていること
- グリーンのスリーブが5mm程度出ていること
- ワンタッチカプラーをまっすぐ引っ張って外れないこと

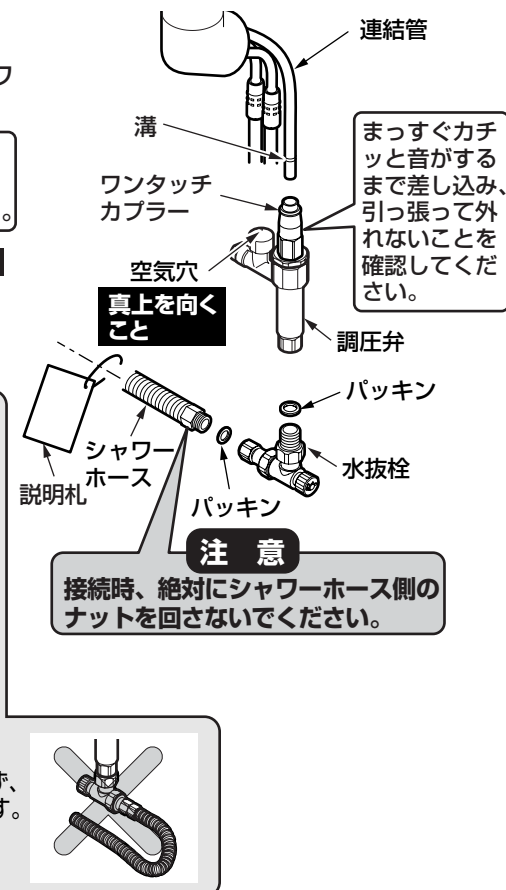


寒冷地用の場合

- ①水抜栓に調圧弁を接続する。
 - ②水抜栓側の袋ナットを回して、シャワーホースに水抜栓を接続する。
- ※この際、同梱の「**調圧弁・ワンタッチカプラー取付方法**」の説明札を必ずシャワーホースに通してください。
- ③ワンタッチカプラーを連結管に**カチツ**と音がして、それ以上差し込めなくなるまで**まっすぐ**差し込む。

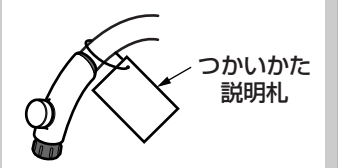
注意

- パッキンが入っていることを確認してください。
- 異物の付着がないことを確認してください。
- 必ず調圧弁を取り付けてください。調圧弁を使用しなかった場合、シャワーホース内の水圧が高くなり、シャワーホースが破損したり、水漏れするおそれがあります。
- 調圧弁は空気穴が真上を向くように設置してください。また、引き出しなどに調圧弁が当たらないことを確認してください。傾いていると、内部の機構が正常に作動せず、水漏れなど予想しない事故の原因になります。
- 水抜栓の取り付け方向に注意してください。



注意
接続時、絶対にシャワーホース側のナットを回さないでください。

施工完了後、ハンドシャワーに「つかいかた説明札」を取り付けてください。また、お客様にもご使用方法を十分にご説明願います。(詳しくは、取扱説明書の「つかいかた」を参照してください)



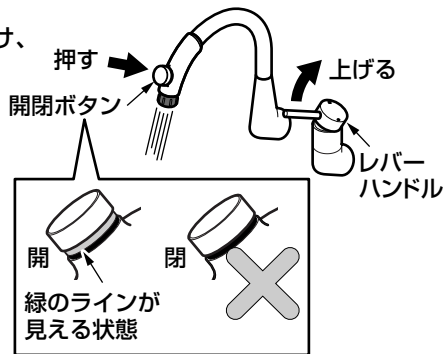
7

施工後の調節

1. 水出し確認

取り付けが完了したあと、配管部の元栓を開け、スパウトから水が出るか確認してください。

- ①配管部の元栓を開ける。
- ②レバーハンドルを上げる。
- ③開閉ボタンを押す。
※水が出ます。



給水圧が高い場所では温度調節をする際、ハンドル操作が固くなるおそれがあります。その場合は、止水栓で流量を絞ってご使用ください。

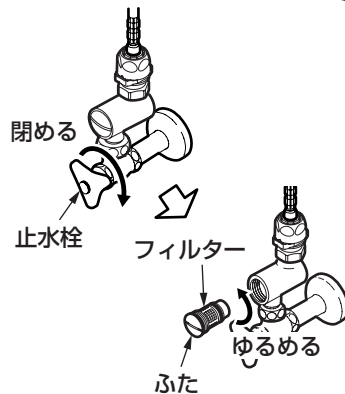
2. フィルターの掃除

取り付け後は必ずフィルターを掃除してください。

フィルターが詰まると流量が少なくなったり、水または熱湯しか出なくなるなど、十分な機能が発揮されなくなります。

フィルターの掃除をする際は、いきなりふたをゆるめずに、止水栓を閉めてから行ってください。また、湯側フィルター部分が熱くないことを確認してください。

また、お客様にも時々掃除していただくようにご説明願います。(詳しくは、取扱説明書の「日ごろのお手入れ」を参照してください)



8

使用上の注意

ご使用中に以下のような現象が発生することがありますが、**故障ではありません。**お客様に十分にご説明ください。

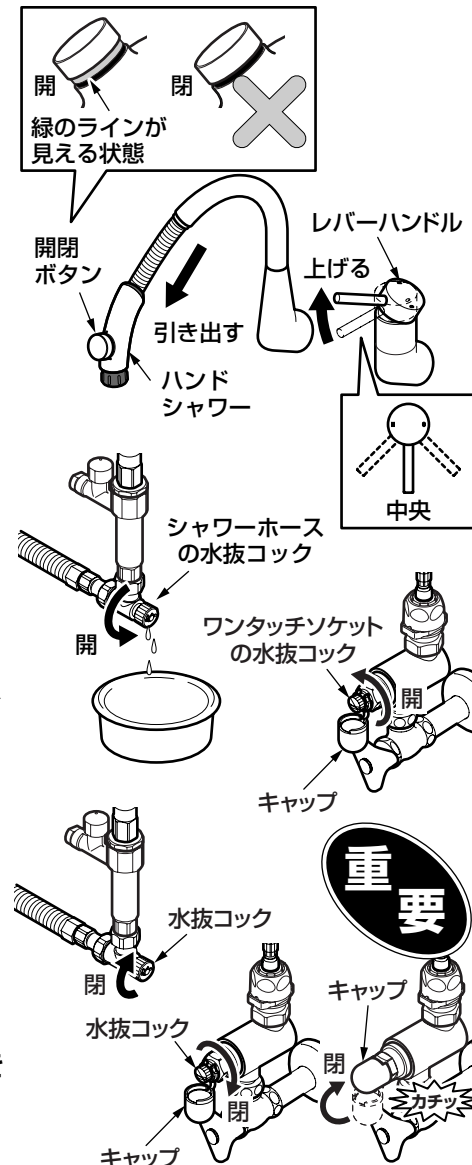
現象	説明
使いはじめに比べて、しばらく使用すると、ハンドル操作が重く感じる。	ご使用により商品内部の部品がなじみ、安定したことによるもので、故障ではありません。

9

寒冷地用の水抜き方法

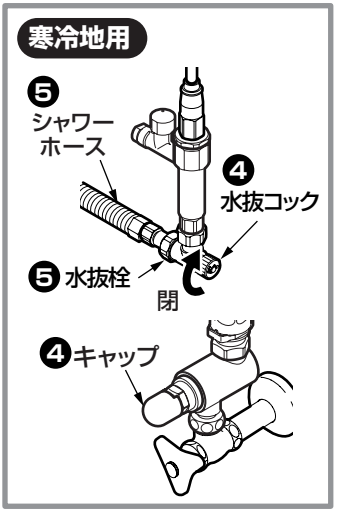
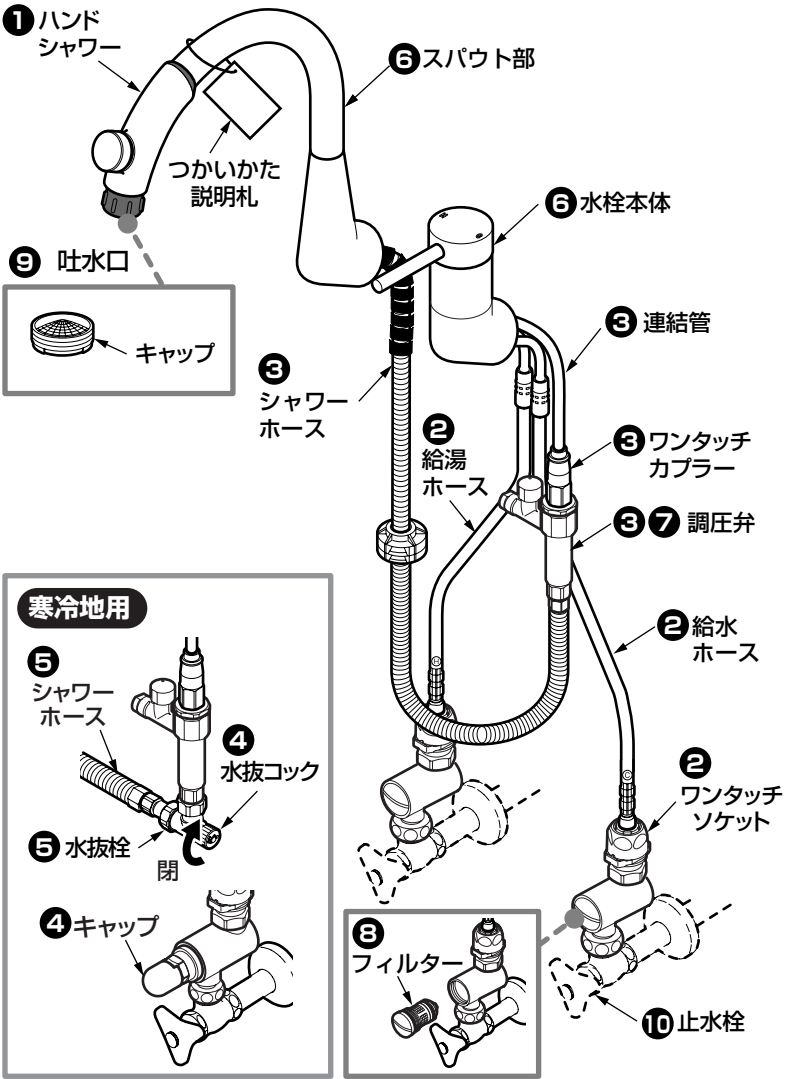
凍結が予想される時期に施工された場合は、水抜きを行っておいてください。またお客様にも水抜き方法をご説明ください。

1. 開閉ボタンが"開"の状態になっていることを確認する。
2. 配管部の水抜栓などにより通水を止めて、水抜きを行う。
3. レバーハンドルを中央位置で上げる。
4. ハンドシャワーをストップするまで引き出す。
5. シャワーホースの水抜コックの下に水受け容器(洗面器など)を用意し、シャワーホースの水抜コックを開ける。
6. ワンタッチソケットの水抜コック(2カ所)のキャップを外し、水抜コックを反時計回りに止まるまで回す。
7. ハンドシャワーを持ち上げ、ホース内の水を抜いたあと、よく振って水を切ってからシンクの底に置く。
8. 水抜き完了後は、必ず水抜コック(3カ所)を閉め、キャップをセットし、レバーハンドルを下げる。(水が出ない状態)



10 点検項目

取り付けが完了したあと、次の項目を確認してください。



動作確認

ハンドシャワーの動作を確認してください。

- ① ハンドシャワーはスムーズに引き出し、および収納はできますか？
- ↳ 6-3 - ⑤「ストッパーの取り付け」参照
- ↳ シャワーホースが止水栓などに干渉していないか確認する。

ガタツキの確認

ガタツキがないか確認してください。

- ⑥ 水栓本体およびハンドシャワー部の止めねじのゆるみはないですか？
- ↳ 6-2 - ②「水栓本体の取り付け」参照
- ↳ 6-3 - ④「スパウト部の取り付け」参照

水漏れの確認

水漏れがないか確認してください。

- ② 給水・給湯ホースはワンタッチソケットにしっかり差し込まれていますか？
- ↳ 6-3 - ③「給水・給湯ホースの接続」参照
- ③ ワンタッチカプラー・調圧弁・シャワーホースは確実に取り付けられていますか？
- ↳ 6-4 - ⑥「シャワーホースの取り付け」参照

寒冷地用の場合

- ④ 水抜コックは、しっかり閉まっていますか？また、キャップはセットされていますか？
- ↳ 水抜コックを閉める。キャップをセットする。
- ⑤ シャワーホースは水抜栓にしっかり接続されていますか？
- ↳ 6-4 - ⑥「シャワーホースの取り付け」参照

調圧弁の確認

調圧弁が傾いていないか確認してください。

- ⑦ 空気穴が真上を向いていますか？
- ・ハンドシャワーをストッパーが当るまで引き出した状態で、調圧弁が傾いていませんか？
- ・調圧弁が引き出しなどに干渉していませんか？
- ↳ 6-4 - ⑥「シャワーホースの取り付け」参照

流量および吐水温度の確認

流量が少ないときや、温度調節がうまくできない場合は、次の項目を確認してください。

- ⑧ フィルターのごみ詰まりはないですか？
- ↳ ⑦ - ②. フィルターの掃除
- ⑨ 吐水口のごみ詰まりはないですか？
- ↳ 吐水口の掃除をする。多くなる
- ⑩ 止水栓は開いていますか？
- ↳ 止水栓で流量を調節する。少なくなる

※同梱の取扱説明書は、必ずお客様にお渡しください。
再生紙を使用しています。